



# 八鹿病院

yoka municipal hospital

# NEWS



地域に暮らす人々と共に心あたたかな医療をすすめたい

特集

「あなたらしく生きる」を支える

## 八鹿病院の緩和ケア

- ▶ チーム八鹿病院 「中央リハビリテーション科」
- ▶ 現場の Expert 「透析技術認定士」
- ▶ 教えて！健康コラム 「いつのまにか骨折」
- ▶ 看護部だより 「コミュニケーションの重要性」
- ▶ トピックス 創立 70 周年記念式典開催 他
- ▶ インフォメーション 病院機能評価を受審し認定されました 他

2019

12  
月号

公立八鹿病院基本理念

私たちは、地域中核病院として、医の倫理を基本に、質の高い医療と優れたサービスをもって、住民の健康を守り、地域の発展に尽くします。



さまざまな職種が「ONE TEAM」となり  
患者さんやご家族をサポートします！



緩和ケアチームスタッフ

緩和ケアのことを、「手遅れで最期に受けるケア」など勘違いされていませんか？。現在では考え方が大きく変わり、「がん」診断時から受けるほうがメリットが多いとされています。

### 緩和ケアとは

がんと診断されてから、いったいどのようなことが起こってくるのでしょうか。個人差はありますが、主に次のような症状が現れてきます。

○**身体**：痛みや吐き気・食欲低下・体のだるさなどや手術や抗がん剤、

## 特集

# 「あなたらしく生きる」を支える 八鹿病院の緩和ケア

### 特徴 1

## 充実のケア・設備とアットホームな環境で過ごす 緩和ケア病棟

緩和ケア病棟は、がんに伴う苦痛があり入院を要する方、患者さんやご家族が入院を希望されている方などを対象にご利用いただいています。



### がんによる疼痛緩和の専門的治療

医師・看護師による回診、24時間スタッフが常駐し、痛みなどの緊急時にも対応します。また、日本看護協会認定のがんの痛みを専門とする「がん性疼痛認定看護師」をはじめ、病棟スタッフ全員が研修を多く受けるなど、質の高い疼痛ケアに努めています。



### 心理的なつらさに対する支援

不安でお困りの患者さんやご家族に、看護師が寄り添いサポートします。「緩和ケア認定看護師」を中心に、専門的な心のケアや痛み・不安の緩和を目的にアロマセラピーのリラックス効果を用いてマッサージなどもおこなっています。



### 季節を感じるイベント開催

クリスマス会やお花見会、七夕会など季節に応じたイベントやミニコンサート、ご希望の方に音楽療法（ピアノ・歌）をおこなうなど、患者さんやご家族、スタッフも一緒に楽しい時間を過ごしています。



### 充実の設備で快適な療養生活

全室個室のお部屋には、夜間付き添いがしやすいようソファベッドの設置や寝具の貸出もあります。その他にも特殊浴室、専用キッチンや家族控室、屋上庭園など設備も充実しています。

**食事** 平日には、可能な範囲でご希望にあわせた食事を提供します。

**外出・外泊** 主治医の許可があれば外出・外泊も可能です。

**面会** 病院の面会制限に準じますが、可能な限り患者さんに応じて時間の変更が可能です。

放射線治療の副作用や後遺症など  
○心：不安・イライラ・不眠・気分  
が落ち込む・再発、転移の不安・死  
への恐怖など

○その他の不安：仕事、家族、治療、  
お金、退院後の生活のこと

このようなつらさに対し、緩和ケ  
アは、がん患者さんとそのご家族の  
さまざまなつらさや不安を和らげる  
ことを最大の目的としています。

### 緩和ケア⇨終末期ケアと 勘違いしていませんか？

緩和ケアは、治療が終わった段階  
で、痛みを緩和し最期を迎えるため  
の終末期ケアではありません。

「がん」と診断された時から起こ  
る身体と心の症状を和らげ、前向き  
に治療に取り組めるようになった  
り、仕事や趣味を楽しむなど、緩和  
ケアを受けることで「がん」と上手  
く付き合いつながりながら生活するこ  
を指しています。

当院では、がんに伴う痛みや不快  
な症状を緩和するケアを積極的にお  
こない、「あなたらしく生きる」「こ  
とを支え患者さんやご家族が安心し  
て生活できるよう応援しています。

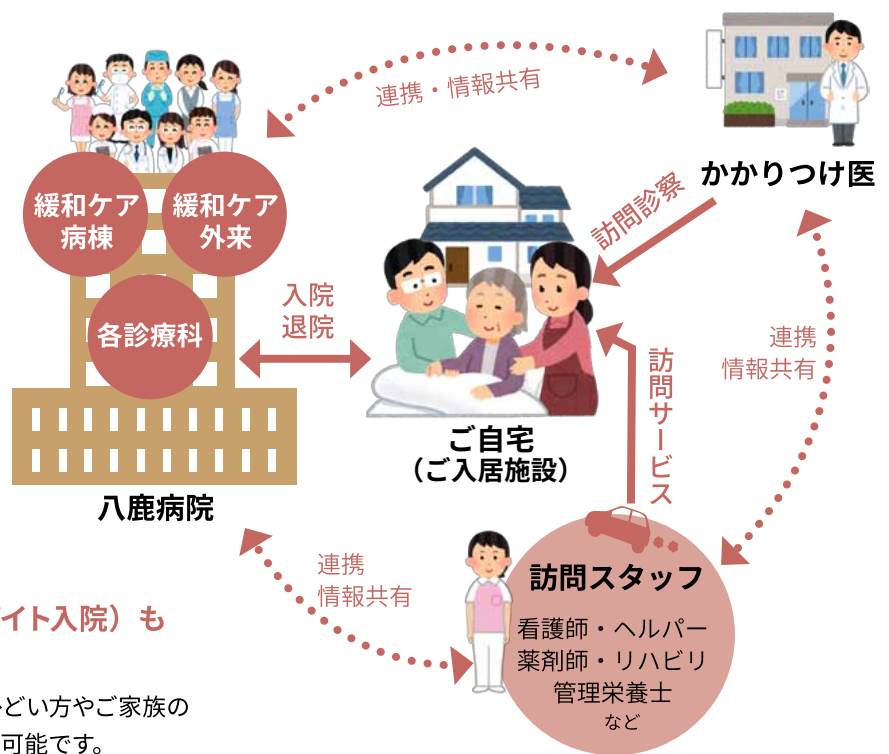
## 特徴2

### 必要時には入院。落ち着けば自宅で過ごせる 病院・自宅で緩和ケアが受けられる体制

病院やご自宅・介護施設でも緩和  
ケアが切れ目なく受けられるよう、  
当院の緩和ケア病棟や各診療科と地  
域の開業医（かかりつけ医）や訪問ス  
タッフ（看護師・ヘルパー・リハビリ  
・薬剤師・管理栄養士など）が連携し  
情報共有を積極的におこないます。

必要時には、緩和ケア病棟へ入院  
できるよう連携していますので、患者  
さん・ご家族に安心して過ごしてい  
ただけます。

退院時には、看護師や医療ソーシ  
ヤルワーカーが療養先（自宅・施設）  
の相談もお受けしていますので、お気  
軽にご相談ください。



### 一時的な入院（レスパイト入院）も ご利用いただけます！

がん治療中の方で苦痛がひどい方やご家族の  
都合による一時的な入院も可能です。



### 通院でも緩和ケアが受けられます

緩和ケア病棟の入院希望の有無に関わらず、がん患者さんの痛みや体のだるさなど  
様々な身体症状・心のつらさに対する治療やケアを通院でも受けていただけます。

<こんな方が緩和ケア外来を利用されています>

- がん治療中の患者さんで、治療と並行して緩和ケアを希望される方
- 緩和ケア病棟退院後の患者さんに対する定期的なフォロー診察
- 緩和ケア病棟入院のため面談を受ける方（他院に入院中・通院中の患者さんにも対応）

緩和ケア病棟への入院や緩和ケアについてご質問やご不明なことが  
あれば、いつでもお気軽にご相談ください！

<お問い合わせ> 地域医療連携室

各部門から知っていただきたい  
とりくみなどをご紹介します



## チーム八鹿病院 中央リハビリ テーション科

# 装具をつけて効果的なリハビリを

## 装具療法の紹介

### 皆さんは「装具」をご存じですか？

リハビリとは、『訓練』で身体の機能回復を図ることと思われる方も多いかと思いますが、麻痺をした手足を補うように使用する装具療法もリハビリテーションの中では大切な位置を占めています。装具といっても色々な種類があり、目的も違います。今回は当院で使用している装具を紹介します。

まず一つ目ですが、足の装具です。足に麻痺がある、力が入りにくい時に使います。装具が足りない力を補うため、歩く時のつまずきや、膝折れを少なくします。

二つ目は手の装具です。足と同じく手の麻痺がある時にそれを補ったり、力が入りやすくするために使用します。

最後に膝や腰の装具です。サポーターやコルセットと呼ばれるもので、痛みを和らげて動きやすくするものです。痛みを防ぐ効果もあるため、腰痛持ちのセラピストは愛用しています。

### 当院で使用する 装具の紹介

#### 腰の装具 (コルセット)



既製品です。いつもは服の下につけています。力仕事の時にお腹に力が入りやすく、腰痛を防ぎます

#### 手の装具



(右) ばねの力を利用して指を動かす補助をします。  
(左) 麻痺でこわばった指や手を伸ばします。

#### 膝の装具 (サポーター)



既製品のサポーターです。歩行時の膝の痛みを和らげます

#### 股関節から 足先の装具



膝をまっすぐに固定でき、歩行時の膝折れを防ぎます

#### 膝下の装具

足首が固定でき、つまずきを防ぎます



装具は専門スタッフと一緒に作る事が大切

装具は必ず医師の指示のもと、義肢装具士、理学療法士、作業療法士らと相談しながら作製することが大切です。一度で最適なものが出来ることは少なく、実際に仮合わせ等を繰り返し、動作を繰り返して痛みが出ないか、目的とする機能は得られているかなどを細かくチェックしていく必要があるからです。



装具作製の様子。義肢装具士が体に合わせて採型します

#### 装具費用は一部助成される

医師が必要と認めた装具の代金は一時的に全額立替え払いとなりますが、国民健康保険の窓口や社会保険事務所等に申請することによって一部負担金を除いた金額が払い戻されることになっています。ご不明な点があれば中央リハビリテーション科までお問い合わせください。



装具は上手に利用すれば歩きやすくなったり、楽に動くことができます。お困りの方は、主治医にご相談ください。

当院で活躍する  
認定・専門職員を紹介!

## 現場の Expert エキスパート

File.05

人工透析の知識とスキルで  
患者さんの治療を支える

### 透析技術 認定士



透析センター  
看護師  
西村 公男

#### 透析技術認定士とは？

透析療法合同専門委員会（日本腎臓学会・日本泌尿器科学会・日本人工臓器学会・日本移植学会・日本透析医学会）の認定を受けた、人工透析における知識とスキルを有することを証明する資格。医師の指導監督のもとに透析装置の操作および管理をおこなう。

#### 自分に限界を感じたことからはじまった

透析センターに配属となった当初は、透析の特殊性から業務や患者指導まで覚えることに必死でした。しかし、経験を重ね様々な透析患者さんと関わる中で、自分の透析に関する知識や技術、指導方法に限界を感じこのままではいけないと思い、更なるスキルアップを目指すために透析技術認定士の資格取得を目指しました。

#### 透析患者さんのケア・指導、スタッフの教育、業務改善やリスク管理にスキルを役立てる

いつもは透析センターで、患者さんの透析治療が安全におこなえるように、透析の準備から穿刺、透析中の患者さんの観察から異常時の対応、患者さんの健康管理と生活指導を主におこなっています。

中でも食事療法や水分摂取量の指導や、透析に伴う合併症の予防や早期発見、シャント（透析するための血管）の管理と異常の早期発見は重要です。これらの事は、正しい根拠に基づいて適切な方法をおこなうことで、指導の効果をより高める事ができ、異常の早期発見や予防につながっています。

また、新人スタッフへの教育やスタッフ間での知識や技術の共有によるスキルアップ、透析センター内の業務改善やリスク管理など様々なところで役に立っています。

#### 患者さんへの指導、治療や方針について具体的に話し合いに自信が持て、やりがいを感じる

以前より自信を持って患者さんへ指導や情報提

供がおこなえるようになり、患者さんが説明に対して充分理解され、日々の自己管理につながる事にやりがいを感じます。また、以前に比べて医師や臨床工学技士と、患者さんの透析治療や方針について具体的な話をする機会も増え、一層仕事にやりがいもてるようになりました。

#### 向上心とチーム全体のレベルアップを目指し患者さんの治療の支えになりたい

資格取得後、新しい透析医療や看護について学ぶために学会や勉強会に積極的に参加し、常に向上心を持ち続けるようにしています。また、新たな学びをチームに伝達し実践することで部署のレベルアップとなり、このことが患者さんへの看護につながり、患者さんの治療の支えとなれるように努力していきたいです。

今後も日々自己研鑽することを忘れず、患者さんが少しでも八鹿病院の透析センターで良かったと思っただけのように、患者さんの思いに寄り添う事を大切にしながら日々看護をおこなっていききたいです。



透析を受ける前の血圧測定。血圧管理は異常の早期発見に大変重要な役割を果たします。



適宜カンファレンスをおこない、患者さんが透析を安心して受けられるよう情報共有しています。

医療のスペシャリストが  
伝授する

教えて!  
**健康**  
コラム

## いつのまにか骨折

整形外科 元津 康彦



### 増える「いつのまにか骨折」

朝起きたら、腰痛で動けない。レントゲンではなんの異常もないので、ぎっくり腰だと思っ様子をみていたが、2週間たっても痛みは変わらないのでMRIを撮ってみたら背骨の骨折がみつかった、ということがこの20年ほど前から増えてきました。

これは、「骨粗鬆症が原因の骨折で、「いつのまにか骨折」と命名されています。

骨折というと、事故にあったり転倒したり、なんらかの外傷が原因で発症するというのが常識でしたが、骨粗鬆症となった高齢者が急速に増加したため、いつのまにか骨折がどんどん増えてきました。

私自身も、整形外科医になって駆け出しの30年前は、このような骨折と遭遇することがまったくなかったため、MRIでしかわからない外傷のない骨折を「骨折」と呼ぶことにはかなり心理的な抵抗がありました。最近ようやく受け入れられるようになってきました。

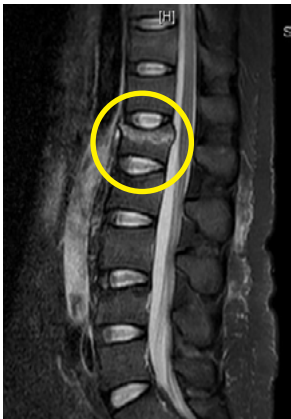
### 骨折連鎖とさまざまな症状がおこる

いつのまにか骨折は、1か所骨折すると、2か所、3か所と骨折連鎖をおこすことが知

られています。複数箇所の骨折がおきると、背中が丸くなり、慢性腰痛をきたし、動くことがおっくうになります。寝たきりになると、家族の負担が大きくなるだけでなく、うつ病、認知症のリスクが高まるとされています。

薬や注射によって、この骨折連鎖を予防することが100%ではないですが、可能になってきています。65歳以上の女性は、骨粗鬆症検診を。

(骨粗鬆症検診のお問い合わせは当院人間ドック室まで)



腰椎MRIの画像。○部分が骨折部位です。

## コミュニケーションの重要性

8病棟看護師 自谷 麻実

## かんごぶ 看護部だより

私の所属する病棟では、主に神経難病などにより、コミュニケーションに何らかの障害がある患者さんが多くおられます。わずかな意思表示にも、読み取りや発語にかなりの時間を要します。そういった患者さんは、「伝の心(体の一部をわずかに動かすだけで操作できる重度障害者用意思伝達装置)」や文字盤(五十音順が表示された透明なボード)などのコミュニケーションツールを使用されている方もおられます。

病棟では、毎年4月にコミュニケーションのスキルアップに勉強会を実施するなど日々勉強をしています。実際には目や口の動きが上手く読み取れないこともあり、コミュニケーションの難しさを実感しています。それでも患者さんの言いたいことをよく理解するために、コミュニケーションツールを再検討するなど、職種と協働しよりよい方法を考えています。



文字盤を使い患者さんとコミュニケーションを図る様子

今の病棟で勤務し4年、毎日コミュニケーションの重要性を感じています。私は患者さんが「今、伝えたいこと、してほしいこと」を大事にできる看護師でいたいと思っています。そして、患者さんと「今必要なこと」を一緒に考えたいです。



被災想定現場より傷病者を受け入れる

10/27

集団災害訓練を実施しました

10月27日曜日、集団災害訓練を実施しました。今回の訓練は、養父断層を震源とする直下型地震（震度6弱）が発生した想定で、被災現場（八鹿町国木）の現場指揮本部と連携をとり、多数傷病者を受け入れるというものでした。今回は、養父市総合防災訓練と合同で、被災現場への当院DMAT隊員の派遣や被災現場の現場指揮本部と院内の災害対策本部との連絡・調整を、実際にとりながら、本番さながらの状況下のもと、訓練をおこないました。



香美町射添地区での様子

10月  
11月

健康講座&住民懇談会を開催しました

養父市南谷地区・西谷地区にて健康講座・住民懇談会を開催しました。南谷地区では外科医である西田副院長より「ソケイヘルニア」のお話し、西谷地区では整形外科医である元津院長補佐より「ロコモティブ症候群」についてのお話しや簡単な体操をお伝えしました。また、10月・11月には香美町の4地区（塚・村岡・小代・射添）にも伺い、後藤院長より「心臓病・脳卒中・認知症の予防」と題して、健康寿命（自立して生活できる生存期間）を伸ばすための基本的な知識と秘訣をお伝えしました。  
※今後の予定は8ページをご覧ください。

11/9

公立八鹿病院 創立70周年記念式典を開催しました

—未来へむけて、より信頼される地域の病院となるための決意の場でもありました—



記念式典の様子

「公立八鹿病院組合の歴史」  
谷尚名誉院長

どのように病院が発展してきたのか、長年の院長としての経験を下、様々なエピソードを語っていただきました。



「但馬の地政学的考察と八鹿病院の使命と未来」  
中尾一和氏  
京都大学名誉教授・養父市名誉市民  
健康長寿の最先端地域を目指すべく、当院での将来的なプロジェクトの概要を、ユーモアを交えながら力強く語っていただきました。



「経営分析からみた八鹿病院の将来像」  
今井久雄氏 代表監査委員

病院の財務・経営分析の観点から八鹿病院の将来像を語っていただきました。



ピアノ演奏 和田泰三さん  
宝積寺住職・当院演奏ボランティア

病院の歴史を振り返りながらピアノ演奏。式典に花を添えていただきました。

11月9日、「公立八鹿病院創立70周年記念式典」がビバホールで開催されました。式典での広瀬養父市長、富管理者、後藤院長の挨拶に引き続き、谷名誉院長、中尾一和氏の記念講演や今井代表監査委員の監査委員報告、和田泰三氏による記念ピアノ演奏、浜上香美町長の挨拶で、70周年という節目を盛大にお祝いしました。  
当日は、多くの来賓の方々、関係機関の皆さまをはじめ、住民の皆さんにも多数ご参加をいただき、盛大に式典を開催することが出来ました。当院は、将来にわたって地域医療に貢献できるよう、鋭意努力してまいります。

## 病院機能評価を受審し認定されました

当院は、本年3月に財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価（「一般病院」部門と「リハビリ病院」部門）を受審しました。その結果、平成16年の初回認定を受けてから今回で4回目の認定をいただくことが出来ました。

### 病院機能評価とは？

「病院機能評価」とは、全国の病院を対象に、医療サービスの質や病院組織の運営管理について、日本医療機能評価機構が客観的・科学的・専門的な評価を行うもので、審査の結果、病院として一定水準以上であると認定された場合は、「認定証」が与えられることとなっており、全国8342病院のうち、2167の病院が認定を受けています（10月現在）。

審査方法は、病院の機能を大きく「患者中心の医療の推進」「良質な医療の実践」「理念達成に向けた組織運営」の領域に分け、89項目（「リハビリ病院」部門はそれ以外に23項目）について、事前に書面での審査を行ったうえで、審査員が病院を訪問し、実地審査を行います。項目の評価は、S・A・B・Cの4段階で評価され、認定を受けるには、すべての項目でB（一定の水準に達している）以上の評価を得ることが求められます。



### 当院は、次の6項目において最高のS評価（秀でている）を得ることが出来ました

- 地域に向けて医療に関する教育・啓発活動を行っている
- 栄養管理と食事指導を適切に行っている
- 画像診断機能を適切に発揮している
- 栄養管理機能を適切に発揮している
- リハビリテーション機能を適切に発揮している
- 患者・家族への退院支援を適切に行っている（「リハビリ病院」部門）

認定を受けたことは、第三者から一定水準以上の医療サービスを提供できていると評価されたものであり、中でも特に秀でているとされるS評価を6項目いただいたことは、当院にとって大きな励みでもあります。

今後とも、この結果に甘んじることなく、地域のためのよりよい病院づくりに邁進してまいります。



11/23

### 全国自治体病院協議会による「円滑な退院支援のためのワークショップ」が当院で開催されました



このワークショップは、厚生労働省補助金事業として、同協議会がおこなっている調査研究事業の一つで、病院医療職と市の行政職や地域の介護職が連携して患者さんの退院支援をおこなうために、解決すべき課題や有効な解決策を議論し探っていく取り組みです。当日は、豊岡病院、朝来医療センター、日高医療センター、近隣の市役所、地域の介護施設など、約50名の方に参加していただき、お互いに学びを深め合うことが出来ました。

イベント情報

2019年12月～1月

#### 公立八鹿病院 健康講座&住民懇談会

[対象] 対象地区の方・どなたでもご参加可能

申込不要 無料 (お問い合わせ) 総務課

2020年  
(広谷地区) 1/29 (水) 19:30 - 養父公民館

「健康寿命をのばすために」

ロコモティブ症候群について」

[講師] 元津康彦 (公立八鹿病院 院長補佐)

#### 糖尿病教室

[対象] 糖尿病をお持ちの方またはそのご家族

要申込 有料 (お問い合わせ) 内科外来

12/25 (水) 15:00 - 公立八鹿病院研修ルーム (2階)

「年末年始の過ごし方」内科 藤澤医師

「ヘルシーに楽しむお正月の食事」栄養管理科

「自宅(屋内)のできる運動」リハビリテーション科

[編集・発行]

公立八鹿病院 (担当) 総務課

〒667-8555 兵庫県養父市八鹿町八鹿 1878 番地 1

TEL 079-662-5555(代) <http://www.hosp.yoka.hyogo.jp>

お知らせ

病院ボランティアスタッフ募集中!  
(お問い合わせ) 当院看護部長室まで



公式 Facebook 情報発信中!

公立八鹿病院

いいね!  
お願いします!